

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	第5回みよし市総合計画審議会		
開催日時	令和5(2023)年11月6日(月) 午前10時から午前11時20分まで		
開催場所	みよし市役所3階 研修室3・4・5		
出席者	(会長) 伊藤久司 (委員) 赤井憲彦、酒井喜市、富樫佐智子、清田由雅、竹村勉、鰐部兼道、久野文仁、佐野真紀、新谷千晶、小野田勝輝、近藤憲司、岩田信男、三宅章介、伊豆原浩二 ※敬称略 (みよし市)村田副市長、増岡教育長、清水経営企画部長、深谷総務部長、深津福祉部長、加藤こども未来部長、成田市民経済部長、久野都市建設部長、富田教育部長、新美教育部参事 (事務局)山田経営企画部次長兼企画政策課長、木戸副主幹、加藤副主幹、岡田主事		
次回開催予定日	令和6(2024)年2月頃		
問合せ先	経営企画部企画政策課 担当 加藤、岡田 電話番号 0561-32-8005 ファックス番号 0561-76-5021 メールアドレス <a href="mailto:kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp">kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp</a>		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	—
典 礼 山田次長	本日は大変お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。 定刻になりましたので、第5回みよし市総合計画審議会を始めさせていただきます。 本日の審議会は、「みよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱」に基づき、会議を公開することとしていますので、御承知おきくださいますようお願いいたします。 なお、本日の傍聴者につきましては、1名でございます。傍聴者の方におかれましては、受付時にお渡しをいたしました注意事項を厳守いただきますようよろしくお願いいたします。 では議事に入るまでの進行につきまして経営企画部次長の山田が務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。 本日の出席委員は15名で、みよし市総合計画審議会条例第6条第2項の規定に基づき、委員の過半数の出席がございますので、本審議会は成立していることを御報告させていただきます。 はじめに、伊藤会長より御挨拶いただきたいと思います。伊藤会長よろしくお願ひします。		

伊藤会長	<p>おはようございます。インターネット等でニュースを見ていましたところ、今月初めに、大手の不動産仲介会社が発表したまちの住み心地、住みたいまちランキングにおいて、愛知県内でみよし市は、「まちの幸福度を感じる」が第2位でした。これはいいなと思って結果を見てみると、別の項目に「住み続けたいまち」があり、みよし市は32位でした。それを見たときに、第2次総合計画の中で「ずっと住みたいまち」を目指している本市におきましては、住民の方々にはその認識がまだ届いていないのかなというように思いました。</p> <p>本日は、これまで議論していただいた後期基本計画の修正案が出てきています。5年後、10年後に、この住み続けたいまちランキングでも上位に入るように、忌憚のない御意見をいただければと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
典 礼 山田次長	<p>それでは議題の審議に移らせていただきますが、審議会条例第4条第2項の規定により、会長に議事の進行をお願いしたいと思います。</p> <p>伊藤会長よろしくお願いいたします。</p>
伊藤会長	<p>それでは、限られた時間の中ですが、委員の皆様で十分議論をしていきたいと思しますので御協力をお願いします。</p> <p>それでは、議題1「第2次みよし市総合計画後期基本計画（案）について」、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>本日の審議会では、第3回及び第4回の総合計画審議会において御審議いただいた後期基本計画の素案について、主に委員の皆様からの御意見等をもとに修正を加えていますので、その内容について御確認いただくとともに、12月に実施を予定しているパブリックコメントにおいて公表し、意見を募集するための後期基本計画案について御審議いただきます。</p> <p>会議資料としましては、次第のほか、資料1から資料3までの資料を事前に送付させていただいております。不足等ございませんでしょうか。</p> <p>また、大変申し訳ありませんが、資料1の9ページについて、修正内容が一部反映されておりませんでしたので、本日追加で机上に御用意させていただいております。御確認のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>会議資料のそれぞれについて、簡単に御説明させていただきます。</p> <p>まず、資料1は、後期基本計画について、パブリックコメントにおいて公表するための案としてまとめたものです。基本計画の各取組分野の内容に加えて、後期基本計画策定の趣旨、現行の総合計画の基本構想において記載している本市の将来像や基本目標、それから、計画の指標として、後期基本計画の計画期間中における人口の見通しを前段に追加しています。</p> <p>次に、資料2は、第3回及び第4回の審議会でもいただいた御意見等に対して、前回の素案から修正等を行った箇所についてまとめた資料です。</p> <p>最後に、資料3は、パブリックコメントの概要についてまとめたものです。</p> <p>会議の進め方についてですが、資料1の後期基本計画案について、主に資料2をもとに、前回の素案から修正した箇所を中心に御説明させていただきます。各取組分野の説明の際には、お手数をおかけいたしますが、資料1及び資料2を見比べながら御確認いただければと思います。</p> <p>資料1の表紙をおめくりいただきまして、2枚目の目次を御覧ください。資料の説明につきましては、まず、資料1の1ページ「はじめに」から5ページ「後期基本計画第1章の計画の指標」までをまとめて御説明させていただき、そのあとの後期基本計画第2章の部分につきましては、基本目標ごとに説明、そして質疑とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは説明に移ります。資料1の1ページを御覧ください。</p> <p>後期基本計画案の「はじめに」の部分につきましては、後期基本計画策定の趣旨及び基本構想や実施計画を含めた総合計画全体の構成と計画期間を掲載してい</p>

	<p>ます。</p> <p>つづきまして、2ページを御覧ください。この2ページから4ページまでは、現在の総合計画の基本構想から、本市の将来像に関する部分と基本目標及びまちづくりの進め方に関する部分を計画の基礎となる部分としてそれぞれ引用し、後期基本計画においても掲載してまいります。</p> <p>次に、資料1の5ページを御覧ください。5ページでは、後期基本計画の第1章として、令和10年度までの後期基本計画の計画期間中における総人口と年齢3区分別人口割合の見通しを計画の指標として掲載しています。年齢3区分別人口割合につきましては市全体及び地域ごとの各年度の推計値も掲載しています。この人口の見通しの部分につきましては、令和4年度に行った推計結果からのものとなります。</p> <p>「はじめに」から「後期基本計画第1章」までの説明は以上です。</p>
伊藤会長	<p>それでは、事務局から説明があった1ページから5ページまでについて質疑を行っていきます。意見や質問などございますか。</p>
各委員	<p>《意見なし》</p>
伊藤会長	<p>それでは、次に「後期基本計画 第2章」について、基本目標ごとに事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>基本目標1の説明の前に、資料7ページを御覧ください。基本計画の見方についてのページとなります。基本的なレイアウトは現行の基本計画と変更していませんが、今回から各取組分野のページの右上に、SDGsの17の目標のうち、関連する目標のアイコンを表示することとしましたのでその説明を追加しています。</p> <p>また、計画全体に関することですが、国のこども政策の基本理念を踏まえて、今後、「こども」の表記につきましては、特別な使用をされている場合を除いて、原則として全て平仮名での「こども」で表記することとしましたので、表記の整理を行っています。</p> <p>それでは、基本目標1の各取組分野の主な修正箇所について御説明いたします。</p> <p>まず、資料1の9ページについてですが、このページにつきましては、大変申し訳ありませんが、本日配布させていただいた差替え資料を御覧ください。併せて資料2の御確認もお願いいたします。</p> <p>「子育て支援」の取組分野について、まず、目標指標の目標値の修正を行っています。また、主な取組の「1みよし市版「ネウボラ」の推進」において、「妊娠期から子育て期までにわたる」という表現を「全ての妊産婦・子育て世帯・こどもへの」と修正しています。趣旨に大きな変更があるものではありませんが、対象をより明確にした表現に変更しています。また、この部分で母子健康手帳アプリの導入についての記述を追加していますが、これは、別の主な取組の部分で、子育てインターネット情報サービスについて記述していたところ、その機能を含んだ母子健康手帳アプリを導入するにあたり、包括的な子育て支援策として記述する取組分野を変更したものです。それから、新たな取組として追加した「7保育士確保策の充実」では、委員からいただいた意見を反映し、「離職防止」や「復職促進」に関する記述を追加しています。</p> <p>続きまして、10ページの「家庭教育」の取組分野では、こちらも目標指標の目標値を修正しています。また、主な取組の「2教育相談体制の整備」において、「ハートケア教育サポーター」を「スクールソーシャルワーカー」に変更しています。違いが分かりにくいという御指摘をいただきましたので用語の整理を行ったものです。</p> <p>続きまして、11ページの「地域で子育てを支える環境」でも、目標指標の目標値を修正しています。また、この取組分野では、ヤングケアラーに関する御意見をいただいております。このことにつきましては、基本目標2の「地域福祉」の取組</p>

	<p>分野において重層的支援体制と関連付けて記述することで対応しています。</p> <p>続きまして、少しページが進みますが、17ページを御覧ください。「多文化共生」の取組分野では、本市における外国人人口について現状値を追加するとともに、字句の修正を行っています。</p> <p>基本目標1の説明は以上です。</p>
伊藤会長	<p>それでは、「基本目標1」8ページから18ページまでについて、意見や質問などございますか。</p>
三宅委員	<p>9ページに「保育士確保策の充実」というところがありますが、今、保育士が不足しているのではないかと思います。みよし市でも保育士を養成しているのであればよいですが、施設がありません。どのようにして確保していくのがはつきり分かれば安心できるのではないかと思います。</p> <p>少子高齢社会を迎えて、実は昨日まで鳥取に行っていましたが、大変な過疎のまちで、シャッター街となっていて、人がいませんでした。こどもがいないというのはやはり大変ですので、だからそういう意味では、保育士の確保をしっかりとやっていく必要があると思います。</p> <p>市民の皆さんから見て、みよし市はこどもを育てるのに安心だという、そのような書き方があった方がよいと思いました。保育士の学校があればよいですが、ないものですから、気持ちとしてはそのように思いました。</p>
加藤子ども未来部長	<p>まだ内部的に決まっていないため、具体的な方策が書ききれていないという部分でございます。ただ、保育士については不足状態にありますので、新たな保育士人材の確保をしていきたいというところでとどめさせていただきたいと思います。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございます。他に何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、次に「基本目標2」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>基本目標2の各取組分野の主な修正箇所について御説明いたします。</p> <p>基本目標2の主な修正箇所は、先ほど少し説明しましたが、20ページの「地域福祉」の取組分野の主な取組「1みよし市版地域包括ケアシステムの深化」において、制度・分野ごとの体制では解決が難しい課題の一つとして、ヤングケアラーについての記述を追加しています。併せて、ダブルケアや8050問題についても触れています。また、福祉に対する知識を深めることも重要という委員からの意見を反映して市民の役割の部分の記述を修正しています。</p> <p>また、26ページの「スポーツ」の取組分野において、民間企業におけるスポーツ経験者との連携の記述を追加しています。</p> <p>基本目標2の説明は以上です。</p>
伊藤会長	<p>それでは、「基本目標2」19ページから27ページまでについて、意見や質問などございますか。</p> <p>前回、前々回に御意見を言っていたものに対応されていますので、そのとき、御発言いただいた委員の方々に、訂正の仕方について何か御意見あればその点でも構いません。よろしいですか。</p>
富樫委員	<p>20ページの一番下の「1みよし市版地域包括ケアシステムの深化」について、ここは変更が多数されていますが、前はタイトルが「ケアシステムの構築」とあったのが、「深化」に変わっています。これを私自身、どう捉えたらよいのか分かっておりませんので御説明いただきたいと思います。</p>

<p>深津福祉部長</p>	<p>最初は「みよし市地域包括ケアシステムの構築」となっていましたが、構築するだけでなく、重層的支援体制という、もう一步進んだものを進めていくにあたって、地域包括ケアシステムの深化とさせていただいたところがございます。</p>
<p>伊藤会長</p>	<p>他はどうでしょうか。よろしいでしょうか。 それでは、次に「基本目標3」について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>基本目標3での主な修正箇所について、資料の29ページを御覧ください。 「防災・減災」の取組分野の主な取組「3 災害発生時に備えた対策の推進」において、委員からハード面の整備に関する御質問があり、各種災害に対応するための施設整備を計画的に進めていく旨の記述を追加しています。 基本目標3の説明は以上です。</p>
<p>伊藤会長</p>	<p>それでは、「基本目標3」28ページから32ページまでについて、意見や質問などございますか。</p>
<p>鰐部委員</p>	<p>防災ですが、この市役所が防災の中心的なセンターになると思われまして、市役所自体は免震構造で、非常によい建物になっています。しかし、何かあったときに、そこに何人ぐらいの職員が集結できるのでしょうか。市内に何人ぐらいの市役所職員がいらっしゃるのか。そういうようなところを確認していく必要があるのではないかと思います。 それともう一つは、防犯について、今現在、市役所のすぐ前に本当に小さな交番しかない。みよしの防犯はこれで大丈夫だろうかと前々からお話をしていますが、ちっとも改善されません。豊田警察署の方にお任せしているのみの状況になっています。 私はあるとき、110番の電話をしましたが、到着するまでに約1時間かかりました。これで、みよしの防犯は守れるのだろうかと思いました。あのときは私が区長をやっているときでしたが、そういうことがありました。 防災、それから防犯について、まだまだいろんな設備とか、それから人的なものについてももう少し深く考えられるとよいと思います。その辺りをどのように考えておられるのか、御回答をお願いしたいと思います。</p>
<p>深谷総務部長</p>	<p>災害時の職員の参集の件につきましては、定期的に参加訓練を行っております。昨年度は事前に周知をせずに、参加訓練を行いました。その結果を参考にして、災害が起こったときに、例えば発災から1時間以内にどのぐらいの職員が参集できるのか、2時間以内にはどれぐらいか、全職員が参集できるのはどれぐらいかについて、前回の訓練のデータがありますので、これを重ねながら、より現実に近い数値を揃えるようにはしております。 前回の結果では、すぐに参集できる職員が想定していたよりも少なかったという現実がございますので、そういったところを少しでも多くの職員が参集できて、災害対応に迅速にあたるような体制を整えていかなければならないという課題は認識しておりますので進めていきたいと考えております。 交番につきましては、以前もこの会議の中で一度質問をいただいたと思います。多分想定しておられるのは、豊明市等にある幹部交番というものかだと思います。以前、警察の方にもそのようなものの配置をお願いしていた経緯がありますが、人的な配置の話になりますので、簡単にはいかないというお話をいただいたということは私も記憶にございます。ただ、引き続き、警察の方には要望をしていきたいと思っておりますので、御理解いただきますようお願いいたします。</p>
<p>鰐部委員</p>	<p>交番の方も諦めず、何回か継続的にとにかくお願いしていくということが大事だと思いますので、よろしく願いいたします。</p>

伊豆原委員	<p>防災というのは、この頃の社会の中でいくと、夜に災害が起こる場合は、皆さん家庭にいて、若い人も帰ってきますからよいのですが、昼間というのは、多分若い方たちが皆勤めに出てしまう。地元に残っているのは高齢者と小中学生というスタイル、私の住む町でもそうなんです。そこで、中学生ボランティアという話が動いてきています。</p> <p>昼間に災害が起きたときに、職員が集まっても、地域ではおじいさんとおばあさんと小中学生しかいないという状況が想定されるんですね。そうすると、中学生や小学校の高学年の子たちは、高齢者よりも体力もあるし、頭もちゃんと動くということになっていくと、これからの防災は子どもたちが活躍してくれるというのが私は必要になってくると思います。</p> <p>だから、子どもたちの役割をしっかりとってやってもらう、子どもたちというと語弊があるのかもしれませんが、中学生と小学校高学年は避難所開設だって全部やれます。そういった人たちにいろいろ役割を担ってもらう。高齢者が避難所を開設するというのはそう簡単ではないですね。</p> <p>昨日も私は自分の地元で防災訓練をしましたが、私と同じぐらいの高齢者が集まってくると、これはどうやったらできるのか、なんていう話をやっていて、ちっとも進みません。だから若い人たちの役割というの、ここに何か文言を入れるのかどうかはわかりませんが、すごく大切だと思います。</p> <p>みよし市は、中学校が増えてきました。そういったところを少し書くのかどうかは別としても、そういう仕組みを作っていくということがすごく大切ではないかと思いました。</p>
深谷総務部長	<p>おっしゃるように、みよし市内で仕事をしている方は会社勤めの方々が多く、昼間に自宅にいないという現実はその通りだと思います。そうした中で昼間に大きな災害、地震等が起きたときにどうするかというのは、やはり大きな課題の一つだと思います。今、御提案いただきましたような学校の生徒にも協力いただけるようなことも視野に入れながら、今後、防災訓練等も含めまして、検討していきたいと思います。</p>
伊藤会長	<p>今回の計画の中にはそれを表すというか、それにつながるようなキーワードは入れないということでしょうか。</p>
深谷総務部長	<p>やはりその辺りのやり方等について検討する時間もいただきたいと思います。今回パブリックコメントまでの期間も考えますと、今私どもで考えるのは難しいと思いますが、総合計画の中でそういった考え方も入れて、今後やっていきたいと思っています。</p>
伊豆原委員	<p>コメントを入れるかどうかは別です。要は、地域防災力はそこにあるんだよということを申し上げただけです。地域防災力を高めるというのは、もう少し具体的な話をしていかないと分かりにくいので、そのように申し上げました。</p>
三宅委員	<p>犯罪に関して、具体的に数値目標をたてるのは一番よいですし、現実にはこれだけ起こっているということを皆さん、防犯意識という形ではっきりと自覚するのでよいと思います。しかし、334件以下だったらよいかというのは決してそうではないわけですね。</p> <p>ここの書き方は非常に難しいと思っておりました。犯罪のない社会をみんなで協力して作らなければならないという思いがあるものですから、この前も質問しました。これはこれでよろしいのですが、アンケート結果に基づく数値目標や火事の件数とはちょっと違い、犯罪には人の意思が反映していますので、非常に難しい目標値になると思いました。私の気持ちとして申し上げました。</p>
村田副市長	<p>安全・安心の分野はやはり皆さんすごく心配なところで議論が進むと思います。安全というのはセーフティで、安心というのは日本だけの言葉であり、英語では</p>

	<p>訳すことができないもので、その安心の部分で皆さん気になっているところがあると思います。特に犯罪については、数値で示すのはどうかという話もありますが、こどもたちの力だとか、青年に近い中学生の力というのもやはり学校教育の関係の部署等にリンクします。犯罪の抑止のこともこの中でやっていきたいと思っています。特に庁舎の話が出ましたが、公共施設の免震は市民の皆さんの個人情報を守っている、それを守るという意味もあります。企画部門が幅広く考えて表記をしていると思いますので、足りない部分はないと思っていますが、今後の中でやっていく部分が非常に多いと思いますので御理解いただきたいと思ひますし、頑張つてやっていきます。</p>
井上委員	<p>市内での犯罪発生件数は、334件が現状の数字ということですが、コロナが終つてから、私が実感として感じるのは増えているのではないかとことです。この数値がちょっと小さすぎないかと思うのですが、いかがですか。</p>
深谷総務部長	<p>犯罪の発生件数は、毎月、区長協議会の冒頭で豊田警察署の方に来ていただいて報告させていただいております。この件数に関しましては、先ほど三宅委員からお話いただきましたように、私どもの考え方としては、やはり今よりも増える数値目標を設定するのはいかがなものかという考え方の中で、今よりも少なくしたい。ただ、具体的な件数を数字で「何件以下」という形で表すのが非常に難しい現実がございますので、こうした形で、現状の334件を下回る目標を記載させていただいております。</p> <p>犯罪が起こらないようにしたいというのは皆さん共通の気持ちだと私どもも考えておりますので、表現の仕方は確かにいろいろ御意見があると承知しておりますが、そういった考え方の中でこうした表現にさせていただいております。御理解いただければと思います。ありがとうございます。</p>
伊藤会長	<p>例えば、市民の方が期待されるのは、絶対値の件数に対して少ないというものもあると思いますが、他の市町と比べて安全だというのが示されるとよいと思います。そういう数値があるのかどうかは分かりませんが、犯罪率だとか、1,000人当たりの犯罪数等を比べて、みよし市は安全だという目標設定ができるとういのではないのでしょうか。件数だと、当然大都市だとこれはもっと大きくなると思います。そのような指標に変更するのはいかがでしょうか。</p>
深谷総務部長	<p>指標があるかどうかを調べたことはないですが、件数が出ているということは、警察に問い合わせをすれば、数値は出るのではないかと思います。</p> <p>ただ、他の市町の数値が出せるのかどうかということもございしますので、私どもとしては、過去からのみよし市内の犯罪の発生件数ということで来ておりますので、こうした数値目標を設定させていただいております。そういった数値が出せるのかどうかは確認させていただきます。もし出せるようであれば、ここの数値については、犯罪率等に変えていくということも検討させていただきたいと思ひます。ありがとうございます。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございます。今回、間に合うかどうかは別にして、ちょっと調べていただければと思います。</p>
清田委員	<p>防災や防火の件ですが、空き家が一つの温床になる可能性もあります。空き家に対するの把握のための調査や指導、対策は行っているのでしょうか。</p>
久野都市建設部長	<p>空家等対策計画を策定しまして、本当に壊れそうな空家「特定空家」の監視というのは現在も行っております。</p>

村田副市長	都市建設部においてしっかりとやっているという状況です。戸数も少ない状況です。
久野都市建設部長	資料を持ち合わせておりませんが、壊れて道路をふさいだりするような、危険性のある特定空家というものは市内では確認されておりません。
伊藤会長	よろしいですか。他にございますでしょうか。 それでは、次に「基本目標4」について、事務局より説明をお願いします。
事務局	基本目標4の各取組分野の主な修正箇所について御説明いたします。 36ページを御覧ください。「観光・魅力発信」の取組分野において、現状と課題の福谷城に関する記述を修正しました。また、主な取組の「2観光情報の発信力強化」において、市民が市の歴史や文化を知ることの記述を追加し、市民に対する情報発信にも努めていくこととしました。 続きまして、39ページを御覧ください。「地産地消」の取組の現状と課題の中で、環境保全型農業の普及に関する取組と地産地消のつながりが明確になるように記載内容の修正を行っています。 基本目標4の説明は以上です。
伊藤会長	それでは、「基本目標4」33ページから39ページまでについて、意見や質問などございますか。
久野委員	36ページの目標指標について、現状値は16万6,592人で目標値は17万2,500人となっており、数パーセントしか増加していません。上に書いてあるように、みよし市の中で観光的なものについては、もっともっとPRすれば素晴らしいところはたくさんあって、来ていただける方がもっと増えると思いますが、この目標値はどうでしょうか。
成田市民経済部長	この目標値につきましては、例年、三大夏祭りや石川家住宅、歴史民俗資料館の来場者数の統計をとっておりまして、それを見越して、17万2,500人としております。 観光につきましては、市民の方にもっと知っていただくようなことと、市外の方にもPRしながら増加に努めていきたいと考えております。
久野委員	もう少し数値を上げてもよいのではないのでしょうか。
成田市民経済部長	現状ではこの数字にしていきたいと考えております。この数字を目標になお一層増えるように努力してまいりたいと思います。
近藤委員	36ページに関連して、ちょっと前に調べたことがあります。昭和12年に愛知県の推したい観光地というリストを中日新聞かどこかが出していて、昭和12年の段階で、みよしの大提灯が第2位でした。1位が岡崎城で100万ちょっとで、次がみよしの大提灯で98万票だったと思います。数万の違いですが、当時みよしの人口は1万人いないときですので、そこで98万のはがきが入られたというのは半端ないことです。みよしの人たちが1人100枚、赤ちゃんを含めて1人100枚ぐらい一生懸命書いたということで、すごいエネルギーや愛着があったような気がします。 それと比べると、やはり今のこどもたちには、みよしと言えば何かと言うときに非常に弱いと思います。豊田市は頻度高く情報発信をしています。 福谷城のところは整備されて、市長からも今度発掘をきっちりやりたいという答弁があったと思いますが、基本的には将来計画で、現状は荒れ放題です。こういう形で取組分野に書かれましたので、書いていることをやはりしっかりと、こ



	<p>れから地についての活動を、市役所を中心に観光協会も含めてやっていくとよいと個人的に思います。個人的には福谷城の記述が入ったのでうれしく思っております。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございます。他に御意見、御質問等はございますでしょうか。</p>
佐野委員	<p>今回のこの計画に反映されるかどうか、タイミングとしては遅いような気もしますので、参考に聞いていただければと思います。例えば、「観光情報の発信力強化」というのが、ホームページ等での発信だけではなく、最近ではふるさと納税がすごく注目を集めています。みよし市は、ふるさと納税は税収が上がっている方なのか、あるいは出てしまっている方なのか分かりませんが、最近の傾向では、例えば、体験型のものを返礼品として用意して、まちに来てもらうという取り組みもすごく増えているように思います。</p> <p>みよし市の観光ということで、泊まって観光できるようなものが何かあるのか分かりませんが、カヌーやボートの体験はできますよね。そのような新しい取り組みも可能性としてはありそうな気がしております。今回の計画に乗るかどうかは微妙かとは思いますが、意見を申し上げました。</p>
清水経営企画部長	<p>ふるさと納税については、大体、みよし市に入ってくるお金としては7千万円ぐらいで、出て行くお金が約3億円であり、2億以上のマイナスになっている状況の中で、毎年、新しい地場産のものを企業の方にお願ひしたりして、返礼品の数を増やしているところでございます。</p> <p>体験型につきましては、カヌーなどはありますが、現在のふるさと納税のメニューには入れてはおりません。今後庁舎内で話し合いを重ねる中で、そういったメニューを増やす可能性としては残っていると思いますので、いろんな可能性を含めて研究してまいりたいと思っております。よろしくお願ひいたします。</p>
鱧部委員	<p>観光について、みよし市自体は新しいまちでありますので、あまり古い史跡とかそのようなものは少ないと思います。しかし、観光は作っていかねばなりません。愛知県でも、ジブリパークは何もないところに作って、一つの観光にしています。みよし市は、大きな史跡といったものがほとんどありませんので、そういうものを作り上げていかないといけないと思います。</p> <p>もう一つは、今みよし市自体は拡張していますが、中核となるところがありません。例えば、ラーメン横丁や道の駅があつて、そこにはホテルがあるとか、温泉に入れるようなところがあるとか、いろんなことできる中心市街地を作るということは、やはり人為的にやっていかないとできないと思います。いろんなものを提案したことがありますが、「それについては民活でやってください」という回答でした。</p> <p>民活できるのは本当に小さな、一つ一つのお店程度しかできないと思います。総合的なまちを作っていくには、やはり市が中心になってまちづくりをやっていかないといけないと思います。まちづくりの方の回答をお願ひしたいと思ひます。</p>
清水経営企画部長	<p>みよし市で何か核になるものというのは、現在、なかなか難しい中で、商工会の皆さんから御意見をいただきながら、商工会の皆さんと市の職員で話し合いの機会を設けたりしており、みよし市としても核になるものを考えたりしていかねばならないと思っております。もう少し長い目で見えていただいて、お時間をいただく中で、どんなことができるのかを考えてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
富樫委員	<p>意見ではなく、お知らせです。御存知ない方が多いと思いますが、文化協会に郷土史研究会という部会がありまして、ここにも委員さんがいらっしやつて、多分遠慮して言われないので私が代表して、皆さんにお知らせしたいと思ひます。御自分たちの資金で、協働推進課から「がんばる地域応援補助金」をいただいて、</p>

	<p>3年かけて「目で見るとみよしの歴史」という冊子を作られて、先月の終わりに発表会をされました。それには、みよし市の史跡やいろいろと調べられた市内のものが全部載っています。しかも写真ですので分かりやすいので、観光や魅力発信の一つの資料として使っていただけるとよいのではないかと考えてお知らせしました。</p> <p>資金が限られていましたので、冊数をそれほど作っていないのですが、図書館や市役所にもお配りしていると思います。良いものができたと私は思っていますので、ぜひ使っていただけるとありがたいと思っています。</p>
村田副市長	<p>ありがとうございました。文化、スポーツ、情報の発信の仕方など、御意見をいただきました。サブカルチャーとかSNSとか、紙媒体も当然あるでしょうし、その辺りのことをうまく使って魅力発信につなげていくというのはこの計画の中でも踏まえていると思いますが、反映していきたいと思っています。</p>
伊藤会長	<p>それでは、次に「基本目標5」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>基本目標5の各取組分野の主な修正箇所について御説明いたします。</p> <p>42ページを御覧ください。「環境美化」の取組分野において、ごみの分別の前にごみの発生抑制に取り組むことも重要ではないかという御意見を受けて、主な取組の1にごみの「発生抑制」の記述を追加しました。ごみの減量化については、このあとの「循環型社会」の取組分野でも言及していましたが、それぞれの取組分野の目的を整理し、ごみの発生抑制、減量化に関する内容につきましては、こちらの環境美化の取組分野で記述することとしました。併せて、このあとの「循環型社会」の取組分野ではごみの減量化に関する記述について修正を行っています。</p> <p>基本目標5の説明は以上です。</p>
伊藤会長	<p>それでは、「基本目標5」40ページから44ページまでについて、意見や質問などございますか。</p>
富樫委員	<p>44ページの現状と課題について、「環境型社会の実現のためには」の文章の4Rの括弧内のリデュース、リフューズ、リユース、リサイクルの順番について、前回、委員から指摘がありましたが変わっていません。私も、リデュースよりリフューズの方が前ではないかと思いますが、どうですか。</p>
成田市民経済部長	<p>この順番について、前回近藤委員から御意見がございました。令和2年に第2次環境基本計画を策定したときに4Rについて明記をし、この順番になっている状況でございます。そのときに、みよし市としてまず考えなければいけないところが、ゴミ等の廃棄物を発生させないために、まず製造段階から使用するまでの循環を第1優先として考えましたので、こういった順番にしております。私どもの方針としましては変えることなく、この順番でいくこととしました。</p>
伊豆原委員	<p>コメントは良くなったと思いますが、主な取組には、リサイクルに関するもののみが記載されています。現状と課題や取組分野のねらいで4Rをやると書いてあるので、リユースするためにはどうするのかなど、4Rをどうやって展開するのが主な取組の中に入ってこないとおかしいと思います。</p> <p>市民の意識を向上していただくためには、主な取組のところはかなりちゃんとしていかないと難しいのではないかという気がします。具体的に書くというのは今から大変でしょうから、活動の中でしっかり押さえていただけるとよいと思います。</p>

伊藤会長	<p>ありがとうございます。それ以外はどうでしょうか。 よろしいですか。それでは、次に「基本目標6」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>基本目標6については、主に字句の追加等についての御意見をいただきましたのでそれぞれ対応を行っています。 52ページを御覧ください。「景観」の取組分野では、委員からの意見を反映し、主な取組として「景観重要樹木の保全」を追加しました。 基本目標6の説明は以上です。</p>
伊藤会長	<p>それでは、「基本目標6」45ページから54ページまでについて、意見や質問などございますか。</p>
伊豆原委員	<p>49ページの「公共交通」は上手にコメントしていただいたと思います。これでよいと思いますが、この頃、突然、ライドシェアという言葉がテレビで随分言われるようになってきました。タクシーの運転手さんが少なくなってどうにも難しいからライドシェアでという話の論理は少し気になっています。ちゃんとした公共交通を作ろうという発想の中でのライドシェアがいるのだらうと思います。コメントをここへ書くのは難しいと思いながら、どうしたものかと気になっています。</p> <p>多分、ライドシェアに限らず、AIデマンドのような話もいっぱい出てきてまして、どんどん動いている。公共交通はどんどん動いている話なんですね。モビリティという話になってきて、だから動いている段階でコメントを入れると非常に難しいので、計画の中でどう言うかですが、みよし市公共交通会議の中で議論してほしいというようなコメントか、あるいは「みよし市公共交通会議において検討を行い進めていくことが重要です」という文章の中にそれは入っているというのであれば、それはそれでよいと思います。どんどん動いている段階でこういう計画を作るのはすごく難しいのですが、そういったところを意識しながら、これからの公共交通をどうするかを考えていただければよろしいかと思います。</p>
伊藤会長	<p>今言っていたように、多分、「みよし市公共交通会議において検討を行い」というところに入っていると思います。ありがとうございます。 他にございますでしょうか。よろしいですか。 それでは、次に「まちづくりの進め方」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>まちづくりの進め方の部分で大きく修正した箇所はありません。 59ページの「行政組織」の取組分野において、目標指標の目標値に対して、もう少し高い目標を設定してはどうかという御意見もいただいたところですが、当初の目標値のままとし修正はしていません。 まちづくりの進め方の説明は以上です。</p>
伊藤会長	<p>それでは、「まちづくりの進め方」55ページから62ページまでについて、意見や質問などございますか。</p>
三宅委員	<p>59ページの「行政組織」の現状と課題のところに、事務事業のアウトソーシングとあります。できるだけ安くやりたいからアウトソーシングするのではなく、より専門性を生かすという意味でアウトソーシングするという理解をした方がよいと思いました。</p> <p>この前もどなたかに会議後に申し上げたのですが、ページの表記が大文字のPで書かれています。ページを示すのに、普通、我々は小文字でPを書いてドットを付け、あとは省略します。ページがまたがるときに、Pの次に21から23と書い</p>

	<p>であるものもありますが、pp. 21-23にしなければなりません。論文と一緒にではなく、これはデザインであり、これでよいというのであればよろしいとは思いますが。ちょっと気になりましたので、これでいこうということであれば結構ですから御検討ください。</p>
伊藤会長	<p>事務局から御意見はありますか。</p>
事務局	<p>論文でのページの正しい記述の仕方に関しては、すみませんが、今まで気づかなかった部分になりますので、小文字のPの後にドットをつけて表記するのが見やすいのかどうかなど、そこも含めてどういった表記にするかを改めて考えさせていただきたいと思っております。現状のままとなるかもしれませんが、よろしく願います。</p>
伊藤会長	<p>確認していただいて、事務局にお任せすることとしたいと思います。</p>
近藤委員	<p>意見になりますので、この表記の中には入らないと思っておりますが、58ページに、「情報発信力の強化」があります。私は歴史の方もやっております、今、富樫委員から紹介もありましたが、よその地域に行くと、地元の歴史的なものとか、商店街の歩くマップとかいろんなものがたくさん作られています。多分それにはお金や行政の力も入っていると思っております。先ほど会長がおっしゃった「まちの幸福度を感じる」は2位で、「ずっと住みたい」は32位というのは、基本的にはやはりそこが問題だと思っております。自分たちが住んでいるみよし市はこんないいところだよというのが、広報にもしょっちゅう載っていないといけないだろうし、それに関する施設がやはり整っていなければいけないだろうし、外部の人に発信するいろんな種類のパンフレットが必要だと思っております。豊田市でも地区ごとにパンフレットを何種類も作っています。旭地区や、足助地区なんかは膨大な量のパンフレットを作っています。</p> <p>そういうところと比較すると、みよしの歩くマップは資料館が作った大きな1枚くらいのみです。やっとな郷土史研究会がカラーのものを出したぐらいで、みよし市から出る発信はほとんどありません。資料館もよそと比べると本当に貧弱なものしかありません。</p> <p>良いまちであり、これからも住みたいという意欲を持てるような情報発信が、取組項目の「広報」のところでメインに出てこない、施策をいくらやっても最終的にここに住みたいと思ってもらえないと思っております。やはり住みたいから地域に入って地域活動や防災活動にも出る、お祭りにも積極的に参加する、PTA活動もやる、住みたいから一生懸命やる。その辺りが根本的にベースにないと思っております。</p> <p>今回も立派な計画書ができると思っておりますが、市民に、住みよい、なおかつ誇れるみよしという発想が日常的に浸透しないと、ずっと住んでいただけのみよし市民は育たないと思っております。その辺りが、今日ずっと流れを見ていましてとても重要だと思いたしましたので一言意見を言わせていただきました。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございました。今おっしゃっていただいた、きちんと発信力を持つていくという話については、大まかなものは載っていると思っておりますので、それを具体的に実行していただくという形でお願いできればと思います。</p>
伊豆原委員	<p>あとでパブコメの話が出ると思いますが、私たちは変更箇所を下線の付いた資料をもらっていますが、パブコメの際はこの下線は取ってやられるのでしょうか。</p>
事務局	<p>下線は除いたもので公表します。</p>

伊豆原委員	<p>そうすると、全部文章ばかりになります。だから上手なレイアウトなど、少し分かりやすい形で作った方がよい気がします、それはされるのでしょうか。ちょっと気になりました。</p> <p>私たちが何時間もかけてこうやって読んできたものが、1か月間で市民の方に全部読んでもらうのか、概要版を作るのかどうか分かりませんが、分かりやすいものにしておかないとなかなか難しいのかなという感じがします。何かお考えがあったら教えてください。</p>
伊藤会長	<p>今の御意見は、次の議題でまた御回答いただくことにします。</p> <p>基本的には、今回議論していただいた原案のとおり、ページのところは少し変わる可能性もありますが、基本的にはこの原案の通り決定させていただきたいと思います。</p> <p>続いて、今、少し入りましたが、議題2「第2次みよし市総合計画後期基本計画(案)のパブリックコメントについて」、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議題2の「パブリックコメントの実施について」、御説明いたします。</p> <p>資料3を御覧ください。</p> <p>パブリックコメントの募集期間は、令和5年12月15日金曜日から令和6年1月15日月曜日までの1月間を予定しています。パブリックコメント実施につきましては、12月号の広報みよしにお知らせを掲載する予定としています。</p> <p>計画案につきましては、市ホームページに掲載するとともに、市役所1階みよし情報プラザ及びカリヨンハウス2階サンネットに設置します。</p> <p>パブリックコメントにおいて提出された意見につきましては、意見に対する市の考え方をとりまとめて次回の審議会で御説明させていただきます。また、パブリックコメントの実施結果につきましても、市ホームページで公表してまいります。</p> <p>先ほど御質問いただいた件でございますが、パブリックコメントでは計画案をそのままお示しさせていただきます。今回委員の皆様にお示しさせていただいたような案から、下線を取り除いたものをそのままホームページ及びそれぞれの場所に設置をさせていただきます。</p> <p>それに加えて分かりやすくするためにどうするかにつきましては、どういった方法でできるのかというのは一度考えさせていただきたいと思います。</p>
伊藤会長	<p>それ以外に何か御質問等ございましたらどうでしょうか。</p> <p>どういう形で、この原案以外を示すかというところは少し御検討いただくことでしたので、多少プラスアルファのものが出るかもしれませんが、基本的にはこの原案通り決定させていただきたいと思います。</p> <p>最後に、事務局からその他連絡事項があればお願いいたします。</p>
事務局	<p>次回、第6回の審議会につきましては、パブリックコメント実施後、2月上旬の開催を予定しています。</p> <p>次回の審議会では、後期基本計画の最終案を取りまとめていただく予定としています。日程につきましては、後日追って御連絡させていただきます。よろしくお願いたします。</p>
典 礼 山田次長	<p>長時間にわたり御審議いただきありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして第5回みよし市総合計画審議会を閉会いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>